













# 越後大評定

早川貞水口演

渡邊九十郎の立聞  
 何しろ昔の花魁となるとき、傾城傾國  
 と謂つたもので、國を傾け、城を傾  
 けた、武家や町人に至りますと、家  
 を傾け、地所を傾けた、傾ける家も國  
 もない者は、奴才を傾けた、そんな物  
 は仕方がありませんが、兎に角どう  
 せ利益になる者でありませぬ、三河守  
 綱國公、毎夜の如く三浦屋四郎左衛  
 門方の若衆に夢中にして御遊ばし遊  
 ばす、も此頃では夜分になるさ水  
 門の所へ船を繋いで、花菱屋の若い  
 者が、船頭と共に御待受をする、時  
 刻を計つて、是から御忍びで御光来  
 になる、すると茲に江戸御屋敷に於  
 け町の間屋の旦那様だ。○エー大  
 變なお客だね、船粹た御客様で私の  
 馴染で御座います、竹屋の船頭さんや  
 竹に及ぶ者がねえと云て自慢ぢやね  
 えが、大層に御氣に入られて、始終  
 竹々云つて、益々春の仕暮から、平  
 當、あんな御客様と云ふふなありき  
 せぬよ、私も随分嬉しいこと船頭して  
 居るが、マアあの位の御客様はあり  
 ませぬ、大事な御客様で、○然らば  
 う如何だへ、御客様で御武家様が一  
 番堅苦しいだらう、船イヤもう此御  
 屋敷から御出入になる御趣様は、御  
 品の良い、御立派な御方だが、御御  
 に從いてる彼の比留間に正木なんて

[illegible]

肺病新劑  
金氏煎

本劑從來の『くわいそく』を以て外國の又一新  
治用劑にして防衛系統の健全なる食慾の増進  
進用を有する族を増加し咳嗽を治し痰を強  
容兒の肺結核を治め呼吸器の病を治し痰を強  
客に肺病痰喘に肺失安眠客に氣管支炎  
効能を現はし幸福なる結果を以て又双方  
効を補ふ一層良効を得せし  
希聖者 幼公三錢封人あれば實  
東京市下谷區上根岸町  
日本製藥研究所

七大景口叩進無代呈

正銀側時計殆半額

本品は瑞西國寶社特製正銀鋼密刻  
時刻年番任保險附贈實價五圓以上品  
品格二十圓貳圓三十錢同品のハ  
片緒子十錢増しは附實價六圓以上品  
十錢又は附實價五圓五十錢  
入用十三形男用十五形片袖上上品  
人用四圓二十錢品十五形片袖上上品  
子雨蓋五圓最上の品六圓商會の抵  
アンクル

[illegible]

▲美味なる▽  
中下  
最良薬

**岩崎大藥房**

美味なる  
マシメ最良糖  
豆乳さんにくわー  
**平璃萬應漢菓子**  
開

大阪至聖堂分店  
水鏡 岩崎大藥房  
▲海外樂店あり

定価五錢 十銭 廿銭 五十銭

主 治 効 能  
 夜なきの虫、乳あましの虫、諸症疳の虫、蟲教  
 腹いたみ、疝熱の虫、胸あしく、勞熱の虫、  
 せき、驚風の虫

近來粗惡なるにせもの續出す皇居の御薬と岩崎大進に御注意を乞ふ  
 商標は廿二錢分入りて購入で

廿錢のは卅二錢分入りて購入で

撞球界の泰斗 玉乃一熊 著  
菊判上製三百餘頁  
總クローヌ美裝函入  
定價壹圓五拾錢  
戰時出版自費

球界の泰斗にして世界の大選手の稱號を兼ね、山田浩二氏（本書には山田氏の所文あり）の教を受けたる者、  
 玉乃氏の薰陶を受けたる一人なり。而して山田氏の世間を往來するも亦く、  
 第一は氏の往て玉乃氏に就き斯技の蘊奥を究めしに因らずんばあらざるなり。  
 出づる者繼而吐露す。書中説く所、氏が二十年来研究せる撞球の理論と、  
 秘訣を披瀝せる、選手に對する指南なり。初學者は之によりて、後學者は之によりて、  
 年難解の疑團を氷解すべし。實に是れ球界空前の大名著なり。

大取次所 京城大平通一丁目 京城日報社代理部  
 振替京城三〇〇番

謹賀新年  
產婆 堀越直子  
京城本町一丁目裏  
電話一〇四八番  
大阪府堺市  
福造養賢元肥家原次郎

醇良清酒

京都本町二丁目  
 特約販賣店 佐藤牧太郎  
 同本町三丁目

明治三十四年

輸出品目	輸入品目
大豆	砂糖
大豆粕	麥粉
豆油	綿絲布
雜穀	

辰 合資 鈴木商店出張所 大連紀伊町十九號地

大豆粕抽出豆油製造 鈴木油房 大連市寺兒溝

町田野國總下  
造釀門衛右郎七木茂  
店約特  
目丁一町治明  
商野  
番三五二話電

損の中年はる誤を擇撰の油醬  
油醬クハキ品絶の一唯東關へ給み試  
石千二萬六額年りた冠に國全高造釀  
りけ基に力買購の大最是高造釀の大最  
證實の越優質品は力買購の大最



第三版

# 京城報

刊朝日五十 (號千三第)

## 總督の訓示と吾人の覺悟

總督の訓示を讀み、吾人の覺悟を述べ、國家の前途を論じている。...

## 三千號に就き謹告

大方愛讀者各位の愛顧の下に、我が京城日報は本日、以て號を累ねること正に三千に達せり。...

## 陽春三月約五十頁の記念號

を發刊せんとす記念號が果して如何なる装ひを以て提供せらるべきか、我が社同人も亦聊か期する所あり。...

## 放浪漫記 大谷光瑞

承前十二月一日山陰の秋色を記し、...

## 支那の形勢

支那の形勢を論じている。...

京日詩壇 京日詩壇の活動や作品を紹介している。...

日語俳壇 日語俳壇の活動や作品を紹介している。...

日語俳壇 日語俳壇の活動や作品を紹介している。...

京日茶館 京日茶館の活動や作品を紹介している。...

京日茶館 京日茶館の活動や作品を紹介している。...

京日茶館 京日茶館の活動や作品を紹介している。...

京日茶館 京日茶館の活動や作品を紹介している。...

京日茶館 京日茶館の活動や作品を紹介している。...

京日茶館 京日茶館の活動や作品を紹介している。...



行々  
 色々  
 名々  
 客々

行(な)きんと計畫(けいさく)しつゝあるも其成功(せいこう)は下(か)の人心(じんしん)大(おほ)に定(さだ)まりて動搖(どうごう)も直(ただ)ち

て大に之を重んじたるは事餘な  
の人心大に定まりて勳播も宜に

四十八人	一あり おして
豊公四十人	明治四十三
貝朝六人	年より大正四
貨物八十萬六千三百六十個十萬	入出題入
	三〇〇
	入元

三萬九千七百八ト三移出いしゅつ貨

噸十一海路運送外國貨物二千百三十一萬二千九百廿四個卅九萬七千一百

噸十一 澎湖運送外國貨物二千三百三十一 四萬二千九百廿四個卅九萬七千一百  
九萬二千三百三十一 噸十 體長貨物六千六百 十七噸七十六比較するに個數に







